

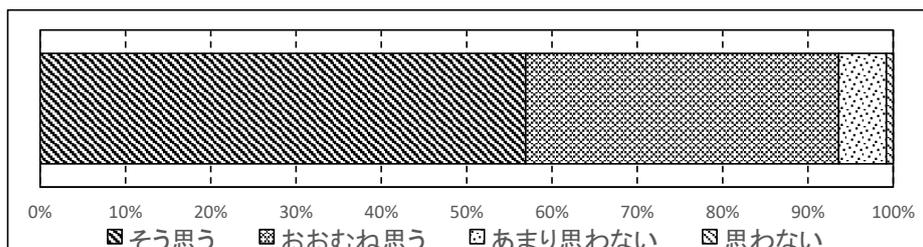
《後期》 学校生活アンケートの結果について 【児童】

白井市立池の上小学校

○ アンケート実施日 2月

1 学校は 楽しいですか。

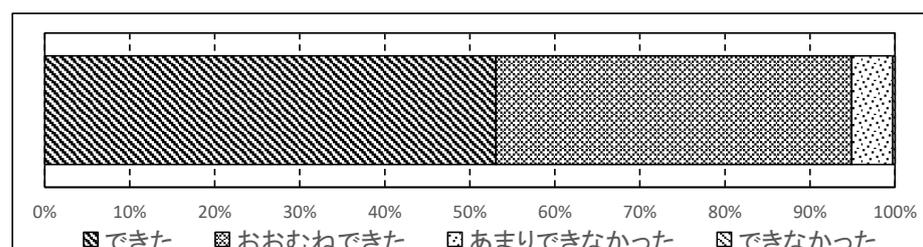
そう思う	56.9%
おおむね思う	36.7%
あまり思わない	5.6%
思わない	0.8%



「学校が楽しい」と肯定的な回答をした児童は、93.6%と前期とほぼ同様の結果となりました。後期は、運動会や校外学習等、多くの行事で児童の活躍の場が多かったことが要因の1つと考えられます。来年度は、さらに多くの児童が肯定的な回答となるよう、職員一同、『かがやく児童』を称賛していきます。

2 授業の中で、よく考えることができましたか。

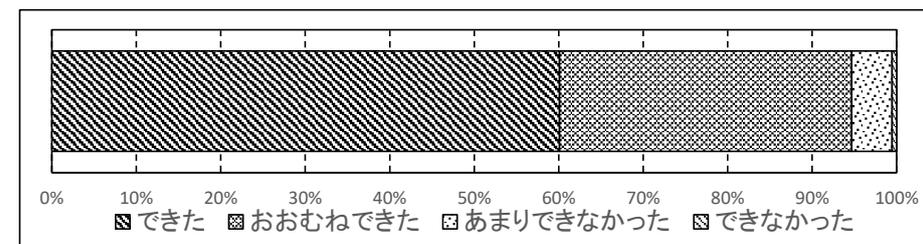
できた	53.1%
おおむねできた	41.8%
あまりできなかった	4.8%
できなかった	0.3%



「よく考えることができた」と肯定的な回答をした児童は、94.9%と前期より上回る結果となりました。教師主導の一斉型授業から「学び合い」へと授業を進めていく中で、児童相互が思考を高めて合っていたことが要因であると考えます。次年度も、学校教育目標である「かんがえる子」をめざし、さらなる授業改善に取り組んでいきます。

3 授業の中で、友達と話し合うことができましたか。

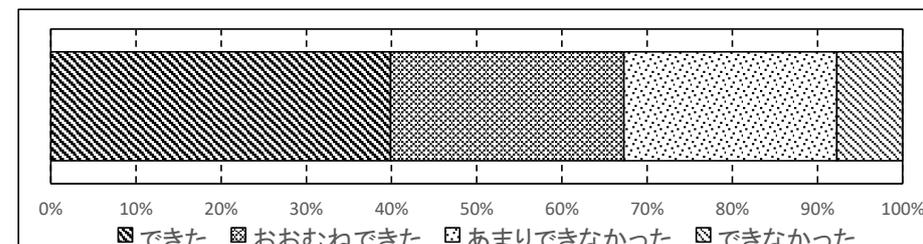
できた	60.1%
おおむねできた	34.6%
あまりできなかった	4.8%
できなかった	0.5%



「話し合うことができた」と肯定的な回答をした児童は、前期より大きく上回り94.7%となりました。後期は、全学年で共通事項として、学習形態を工夫し、ともに学び合う場を意識した授業改善に取り組んできたことが要因と考えます。次年度も、多くの児童が主体的に学習に取り組み、対話をとおして学びを深めていける授業を心掛けていきたいと思ひます。

4 後期に たくさんの本を読むことができましたか。

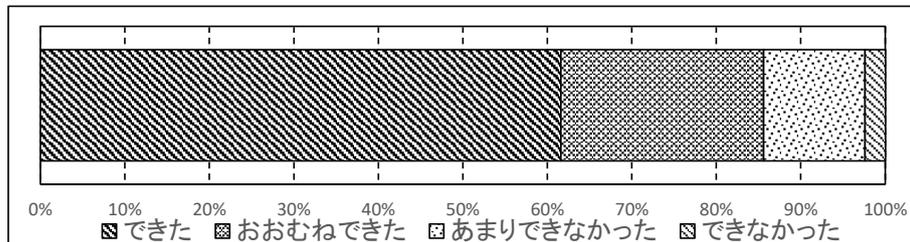
できた	39.9%
おおむねできた	27.4%
あまりできなかった	25.0%
できなかった	7.7%



肯定的な回答をした児童は、67.3%と前期よりも上回る結果となりました。後期は、図書委員会の児童が中心となって計画している「読書まつり」や新しくなった図書室に多くの児童が来たことも要因の一つです。低学年の読む機会は増えていますが、高学年になるにつれ読む機会が減っていることも8割を超えない要因と考えています。次年度は、どの学年にも均等な読書の時間を設定していきたいと考えています。

5 進んで 運動(体育や外遊び)ができましたか。

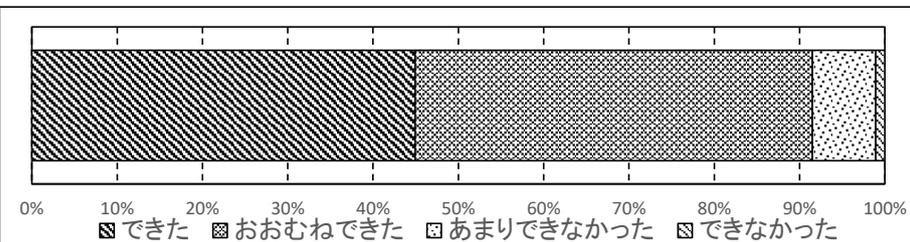
できた	61.6%
おおむねできた	24.0%
あまりできなかった	12.0%
できなかった	2.4%



「進んで運動できた」と肯定的な回答をした児童は、85.6%と前期より上回る結果となりました。後期は、なわとびや鉄棒など多くの運動をととして外で活動する機会が増えたことが要因の一つだと考えます。また、夏の暑さに比べ比較的過ごしやすいくとも、外遊びする児童が増えています。今後も、児童の健康な身体づくりのために、工夫しながら様々な活動を取り入れていきます。

6 学校生活や学校行事などで 目標をもって 過ごすことができましたか。

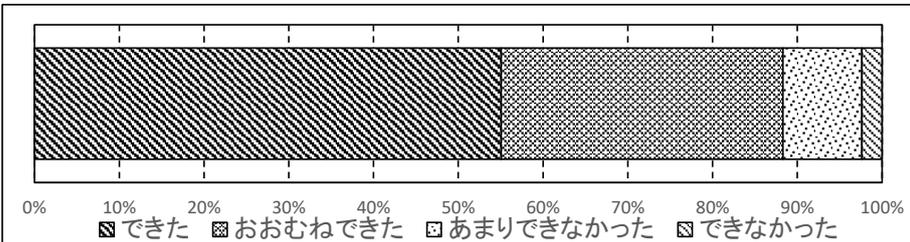
できた	44.9%
おおむねできた	46.5%
あまりできなかった	7.4%
できなかった	1.1%



肯定的な回答をした児童は、前期よりも大きく上回り91.4%となりました。各クラスで、継続的に目標達成に向けての呼び掛けや称賛、そして、支援を行ってきたことが要因と考えます。来年度においても、学年や学級の児童の実態を把握し、目標をもって取り組ませていきたいと思ひます。

7 自分から 先生や友達に あいさつをすることができましたか。

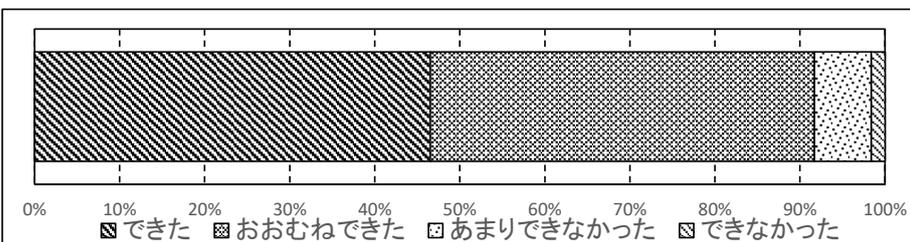
できた	55.1%
おおむねできた	33.2%
あまりできなかった	9.3%
できなかった	2.4%



肯定的な回答をした児童が、88.3%と前期とほぼ同様の結果となりました。各学級でも日頃から指導し、校内での挨拶はよくできるようになってきています。できたことへの称賛や声掛けを行い、学校全体で挨拶のできる子供たちを育てていきたいと思ひます。

8 だれに対しても同じように 優しくすることができましたか。

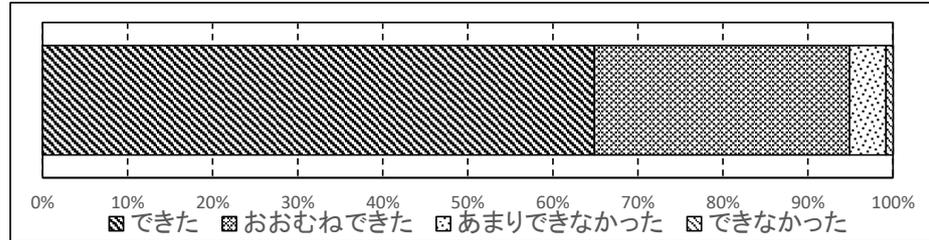
できた	46.5%
おおむねできた	45.2%
あまりできなかった	6.7%
できなかった	1.6%



肯定的な回答をした児童は、91.7%と前期とほぼ同様の結果となりました。後期は、異学年の交流や地域との交流する機会が多くありました。ふれあう機会の中で、「学ぶ」「みる」の体験を通して、意識できたことが要因と考えられます。学校全体でも、優しい子が非常に多いです。今後とも、困っている友達に親切に声掛けしたり、下級生に優しく接したりする機会を設け、心を育む人権教育等を推進していきまひます。

9 日直や係(高学年は委員会もふくむ)など みんなのために 働くことができましたか。

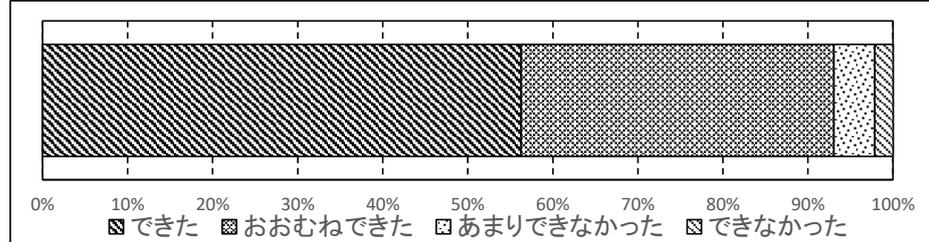
できた	64.9%
おおむねできた	30.0%
あまりできなかった	4.3%
できなかった	0.8%



肯定的な回答をした児童は、94.9%と前期より上回る結果となりました。  
 高学年が全校のよい手本として、みんなのために働くことみせてくれたことが要因の一つです。特に6年生の自主的な清掃活動は、学校全体への模範として立派でした。今後も、高学年の活動を中心に引き継ぎとして、在校生へ引き継いでいけるように、児童の活動をよく観察しながら、意識付けしていきます。

10 静かに そうじをすることができましたか。

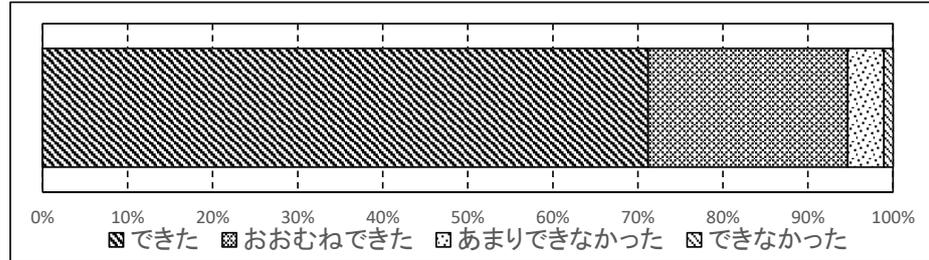
できた	56.3%
おおむねできた	36.8%
あまりできなかった	4.8%
できなかった	2.1%



肯定的な回答をした児童が、前期より大きく上回り93.1%となりました。  
 各クラスでどのように掃除に取り組むかを話し合ったり、できた児童を称賛したりしていった結果だと思います。今では、掃除の時間に話をしている児童はいません。次年度も、生活目標の重点項目の1つにして、清掃活動を維持していきます。

11 くつのかかとをそろえて げたばこに入れることができましたか。

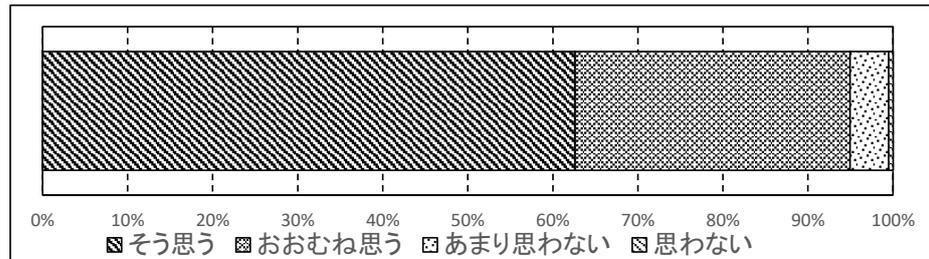
できた	71.2%
おおむねできた	23.5%
あまりできなかった	4.3%
できなかった	1.1%



肯定的な回答をした児童が、前期より大きく上回り94.7%となりました。  
 4月より校内放送の呼び掛けなどで児童主体で活動し、子供たち同士で意識していったことが要因と考えます。次年度も、身の回りの整理整頓の1つとして、生活目標の一つとして継続していきます。

12 先生は 話をよく聞いてくれますか。

そう思う	62.6%
おおむね思う	32.3%
あまり思わない	4.5%
思わない	0.5%



肯定的な回答をした児童は、94.9%と前期とほぼ同様の結果となりました。  
 普段の相談はもとよりアンケートや教育相談等でも、小さな声(SOS)を拾い上げて児童の安全・安心な学校を取り組んでいるところです。  
 今後も、児童をしっかりと見守るとともに、児童からの声を聞きのがさずに子供たちに寄り添った学校をめざしていきたいと思えます。